NPO法人アレッセ高岡共催 子どもの日本語教育研究会 ワークショップ2023
シリーズ：実践を伝える・聴く・語り合う

散在地域の実践例からin北陸 ーひとつの現場からわたしたちの現場へー

図画工作科と算数科の横断型学習のための日本語指導教材の作成

ー活動を通した教科学習の促進を目指してー

阿部（志村）朱理・中川佑紀（金沢大学附属小学校）
深澤のぞみ（金沢大学名誉教授・金沢子どもスタディサポート）

もくじ

1. 実践の場
   日本語適応教室「さくら」
2. 実践の目的と目標
3. 実践の内容
4. 結　果
5. 考　察
6. まとめと今後への展望

1．実践の場　日本語適応教室「さくら」

さくら設置の背景

- 金沢大学が博士課程の留学生を積極的に誘致
- 大学周辺の学校で、博士課程の留学生家族の子どもが急増
- 日本語支援ニーズが高まり
  令和4年度、附属小学校に日本語適応教室設置

1．実践の場　日本語適応教室「さくら」

さくらの概要

◆対象者

・金沢大学の研究者や博士課程留学生の子どもたち

・およそ来日6か月以内

◆目的

・日本語初期指導

・学校生活のきまりの指導

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

さくらの概要

◆「さくら」在籍期間

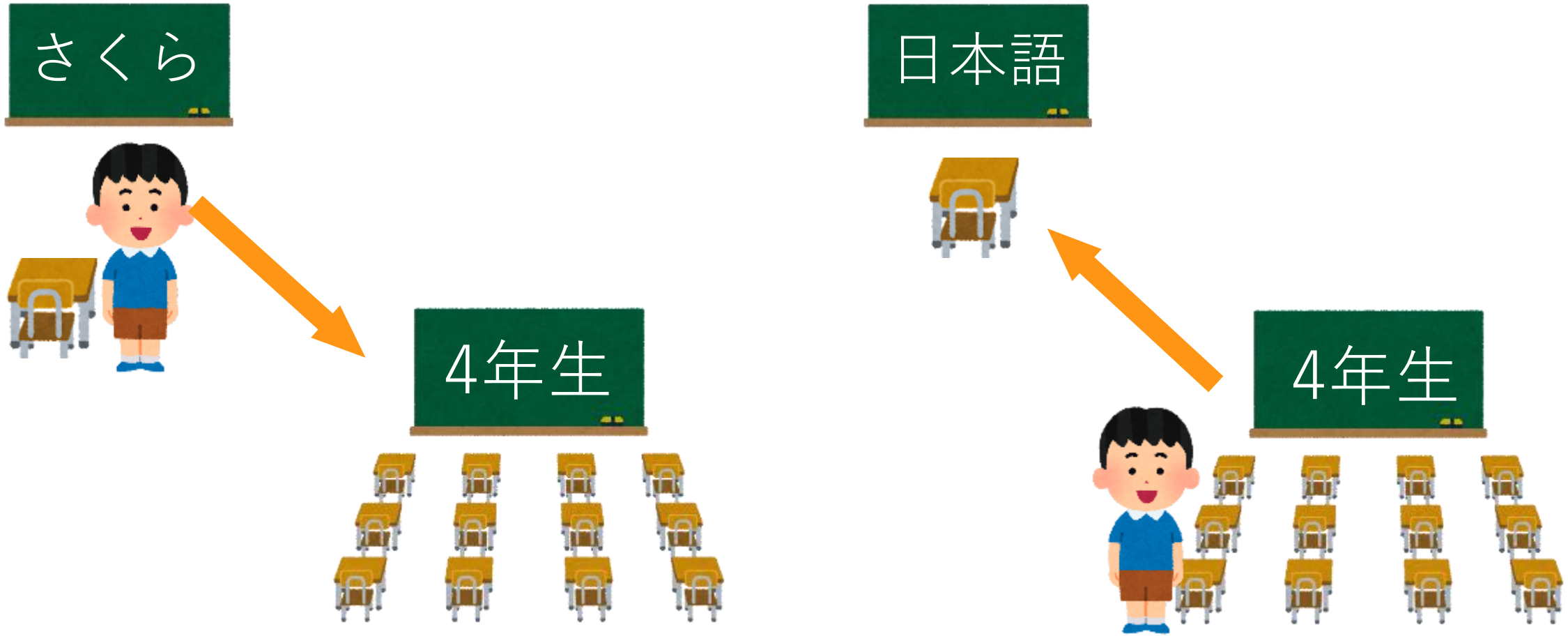
最長１年。日本語習得状況に合わせて決定。

◆定員　８名　（R４年11月実践時　在籍４年生１名）

◆指導　学級担任（中川）・日本語支援（阿部）・アドバイザー（深澤）

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語適応教室「さくら」と学年の教室の関係



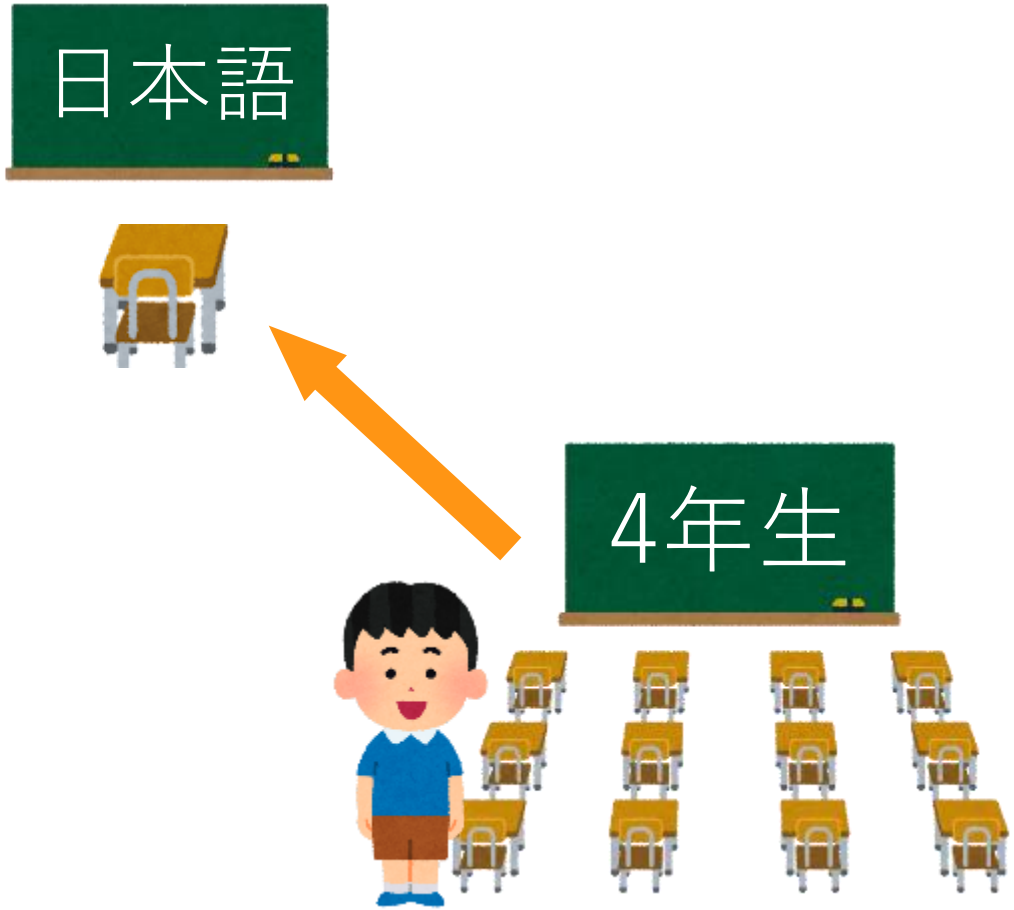
1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

「一般的な日本語教室（取り出し）」

在籍教室「4年生」から、

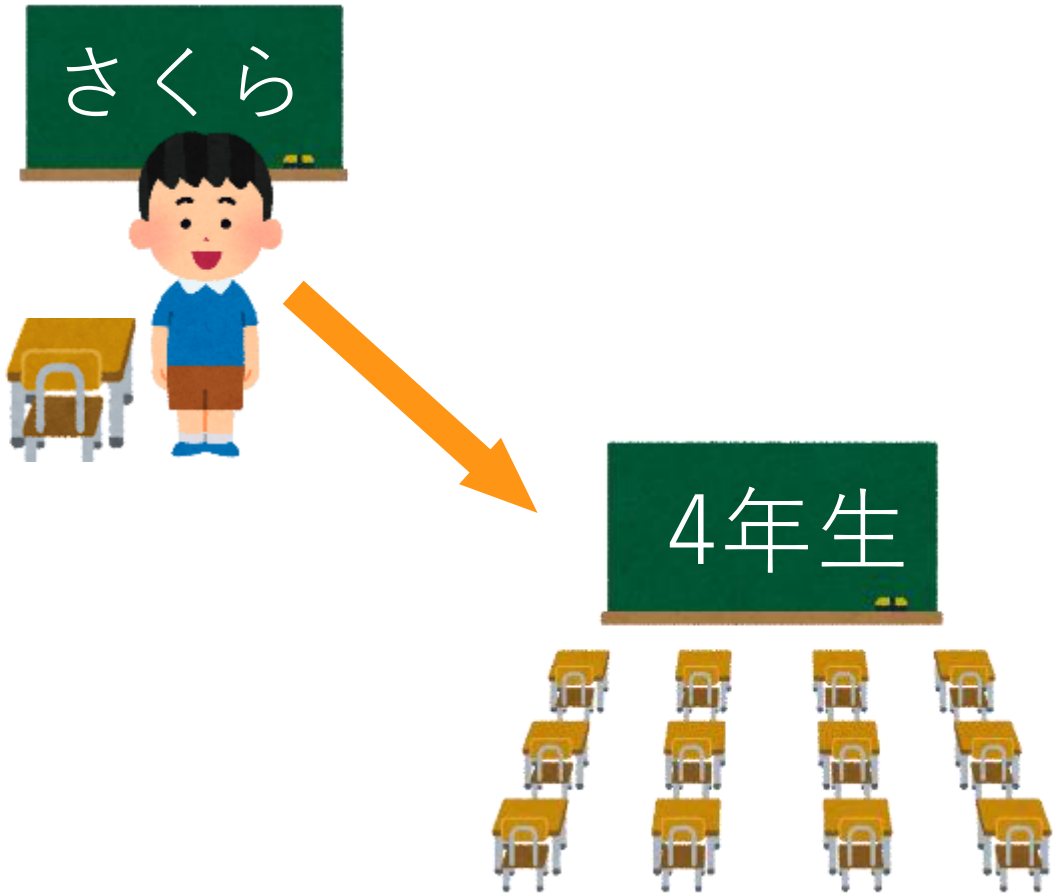
日本語教室に来て

「取り出し」授業を受ける。



1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

さくら



日本語適応教室「さくら」から、
学年の教室「４の１」に行って
「一斉」授業を受ける。

さくらに登校し、朝の会はさくらで行います。
教科の学習もします。

技能教科（体・音・図）を中心に4年生で
一斉授業を受けます。

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

4・5月の時間割

	月	火	水	木	金
1	書写	日本語	体育	図工	音楽
2	算数	英語	算数	図工	日本語
3	社会	体育	音楽	体育	算数
4	道徳	算数	社会	算数	日本語
5	社会	理科	総合	日本語	理科
6	学活	理科	総合	社会	日本語

１１月の時間割

	月	火	水	木	金
1	書写	日本語	体育	図工	音楽
2	算数	英語	算数	図工	日本語
3	社会	体育	音楽	体育	算数
4	道徳	算数	社会	算数	日本語
5	社会	理科	総合	日本語	理科
6	学活	理科	総合	社会	日本語

音・図・体など
技能教科を中心に
一斉授業で学ぶ。

⬇

少しずつ、
4年生での
一斉授業を増やす。

■ さくら
□ ４年生

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業

1.朝の会

2.今日の学習

3.昨日のふりかえり　学級通信「mi-chi」・日記「あゆみ」

4.話す・聞く・読む・書く

　連絡帳、音読、家庭学習の確認等

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業

1.朝の会

2.今日の学習

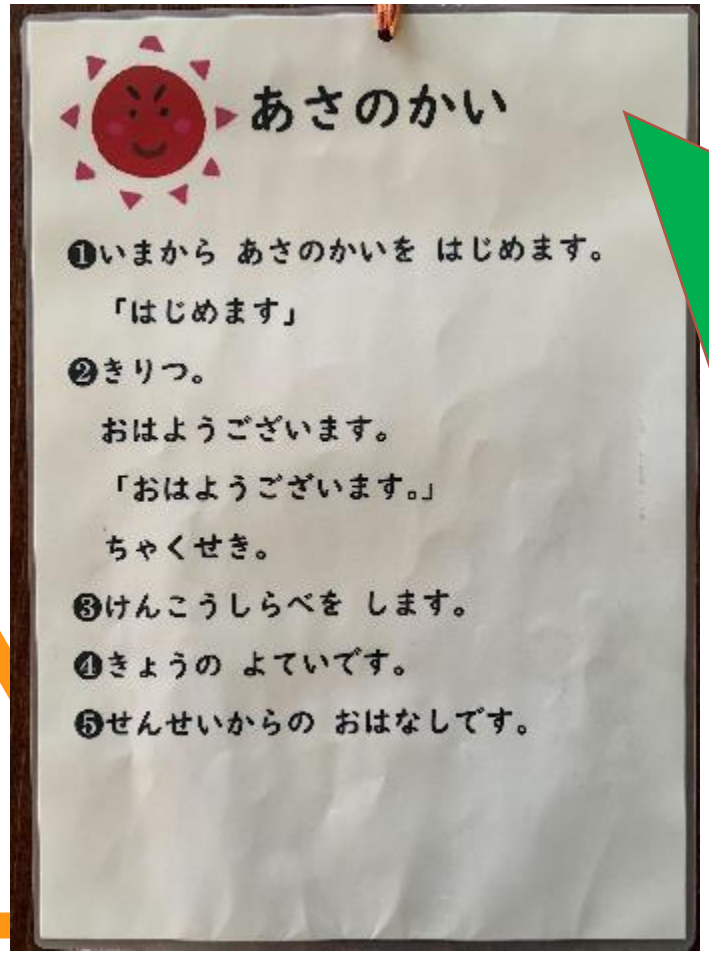
3.昨日のふりかえり　学級通信「mi-chi」・日記「あゆみ」

4.話す・聞く・読む・書く

　連絡帳、音読、家庭学習の確認等

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業

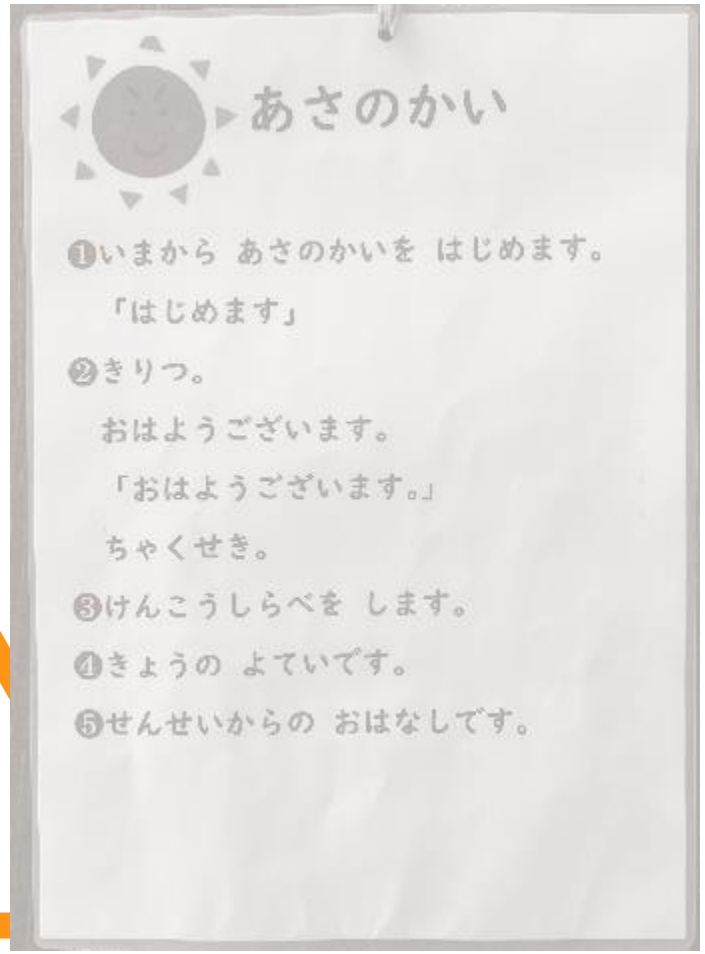


司会のことば

あいさつ
日にち
体調
教科名

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業



今日の予定

特別な日づけ
（ついたち、ふつか、みっか…）
天気
１日の見通しをもつ

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業

係の仕事

・健康調べを職員室に取りに行く係

・牛乳を運ぶ

先生たちが
ほめてくれた！

働く喜び・責任感を養うことにつながった。
意欲的に取り組んでいた。

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業

1.朝の会

2.今日の学習

3.昨日のふりかえり　学級通信「mi-chi」・日記「あゆみ」

4.話す・聞く・読む・書く

　連絡帳、音読、家庭学習の確認等

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業　教科の事前準備

理科：内容を動画で視覚的に確認

実験用具の名前

社会：写真・イラストを見て、話す練習

社会見学で必要な用語やルール、目的の確認

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業　教科の事前準備

体育・図工・音楽：

安全の確認

道具の名前・使い方の確認

競技のルール確認

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業　教科の事前準備

書写：道具の名前・使い方の確認

準備、片付けの練習

【さくら】水筆

とめ・はね・はらい

始筆・終筆

→

【さくら】墨液で

4年生の授業と同じ

流れで。

→

【4年生】書写

さくらで練習した

通りにできた。

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業

1.朝の会

2.今日の学習

3.昨日のふりかえり　学級通信「mi-chi」・日記「あゆみ」

4.話す・聞く・読む・書く

連絡帳、音読、家庭学習の確認等

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業　学級通信　mi-chi

mi-chi みち

さくら 202200711　59

シェイクアウトくんれんが　ありました

７月８日（金）の３げん目。シェイクアウトくんれんがありました。じしんがきたときには、どうしたらよいか？を学びました。　さんは、おぼえているかな？

さて、もんだいです。

1　どこをまもると、よかったかな？

2　つくえのあしは、どうやって　もつとよいかな？

3　ほうそうがなったら、まずはなにをしたらよかったかな？

さんやかぞくにも、おしえてあげましょう！

シェイクアウトくんれんが　ありました

７月８日（金）の３げん目。シェイクアウトくんれんがありました。じしんがきたときには、どうしたらよいか？を学びました。　さんは、おぼえているかな？

さて、もんだいです。

1　どこをまもると、よかったかな？

2　つくえのあしは、どうやって　もつとよいかな？

3　ほうそうがなったら、まずはなにをしたらよかったかな？

さんやかぞくにも、おしえてあげましょう！

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業　学級通信　mi-chi

・前日の出来事を取り上げる

・習得してほしい言葉、安全に関する大切なことを扱う

・漢字を少しずつ増やす

・クイズ、穴埋め、写真をもとに会話

⇒様々な形式で前日の活動をふりかえる

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業　学級通信　mi-chi

音読の様子
写真

音読の様子

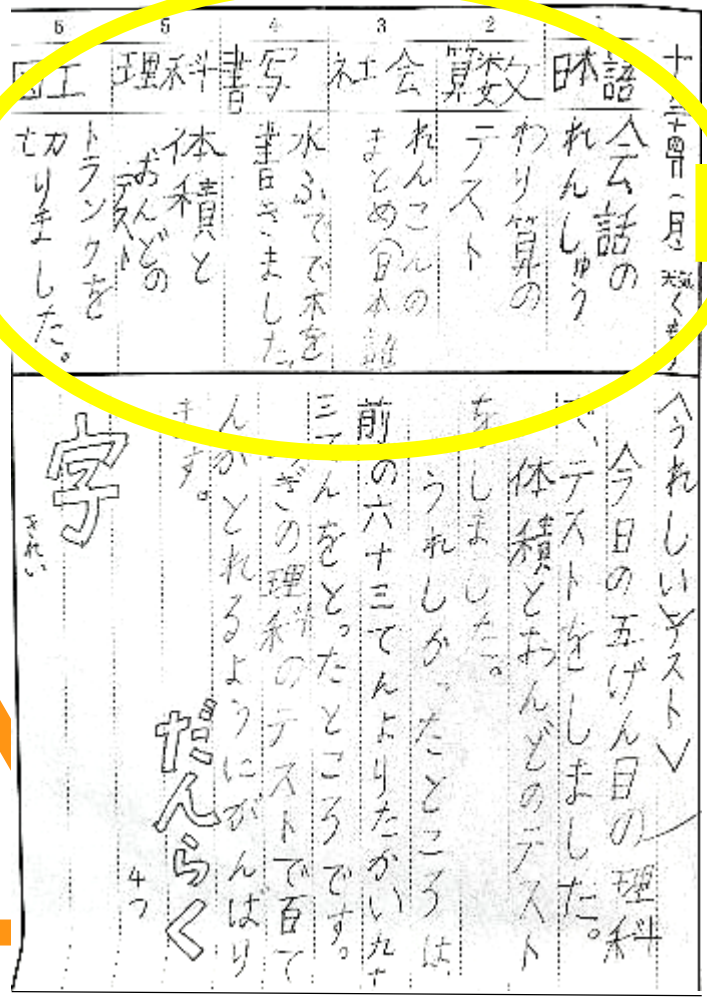
・前後の文脈から漢字の意味を推測

・写真から連想

自分の力で読むトレーニング

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業　日記「あゆみ」

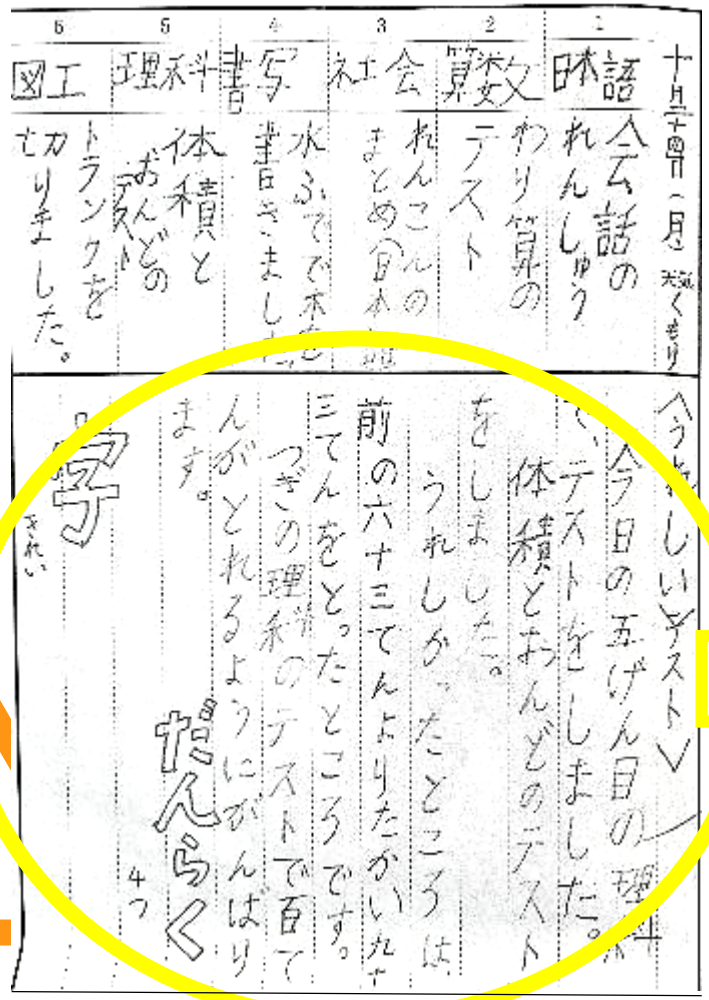


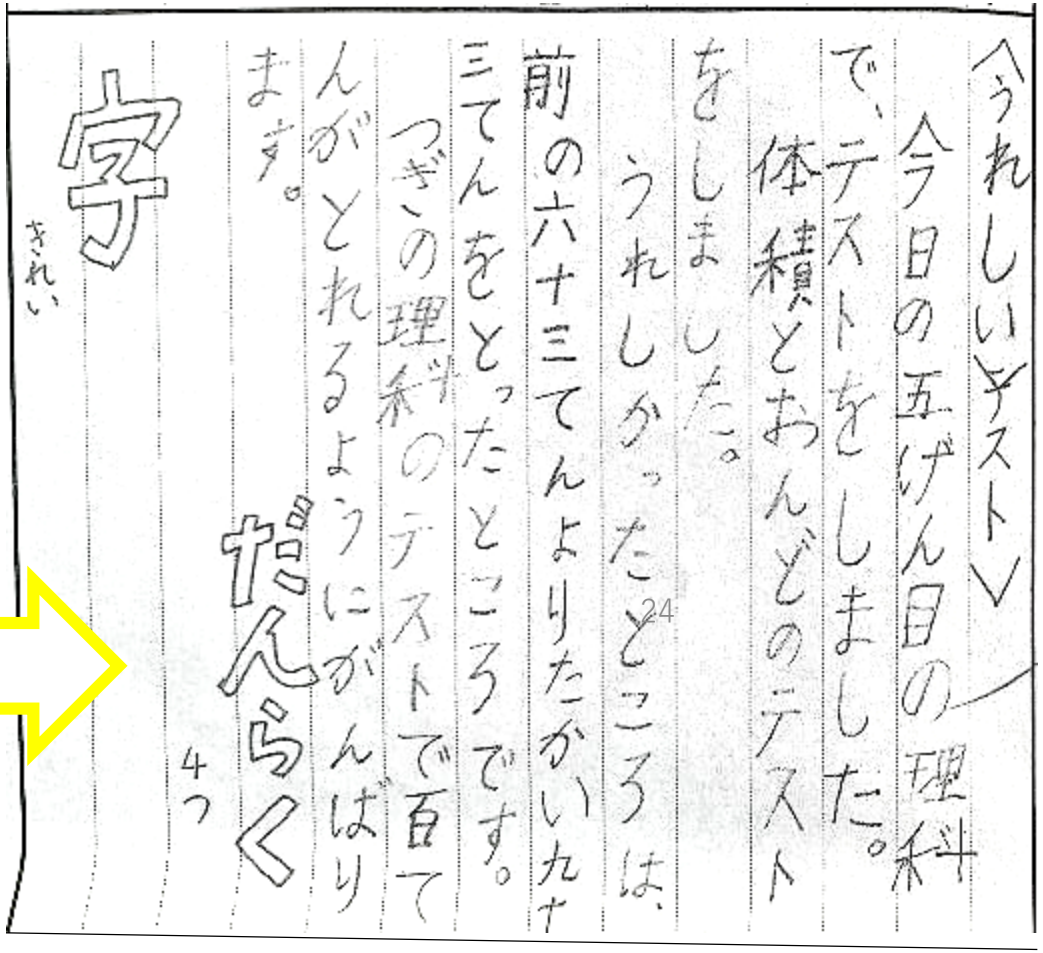
6	5	4	3	2	1	十月二十四日（月）天気くもり
図工	理科	書写	社会	算数	日本語	
トランクをかりました。	体積とおんどのテスト	水ふでで木を書きました。	れんこんのまとめ（日本語	わり算のテスト	会話のれんしゅう	

図画工作科と算数科の横断型学習のための日本語指導教材の作成

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業　日記「あゆみ」





1．実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業　日記「あゆみ」

上段：その日の学習した教科、内容

下段：その日の心に残った出来事

文章を書く基本を身につける
一行目に題名を書く、段落をつける

日本語の授業中に書く。
　　⇒徐々に家庭学習で自分だけで取り組めるように。

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業

1.朝の会

2.今日の学習

3.昨日のふりかえり　学級通信「mi-chi」・日記「あゆみ」

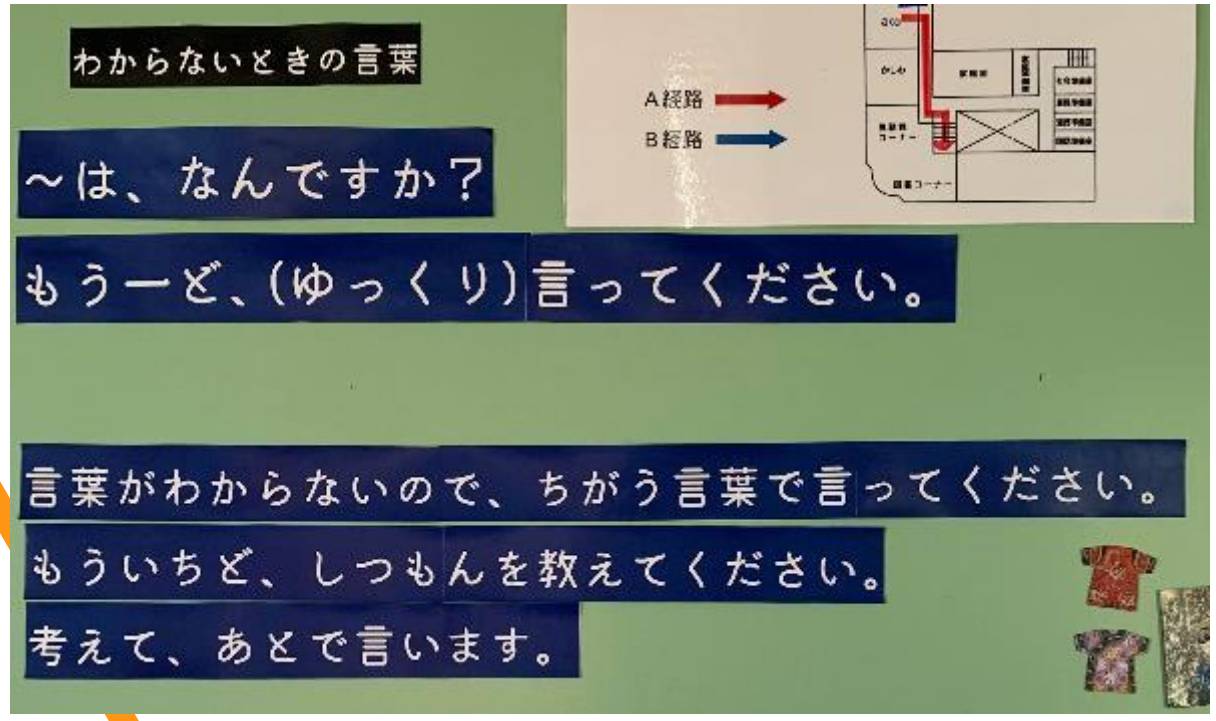
4.話す・聞く・読む・書く

　連絡帳、音読、家庭学習の確認等

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

日本語の授業

授業中の言葉



友だちに話す言葉

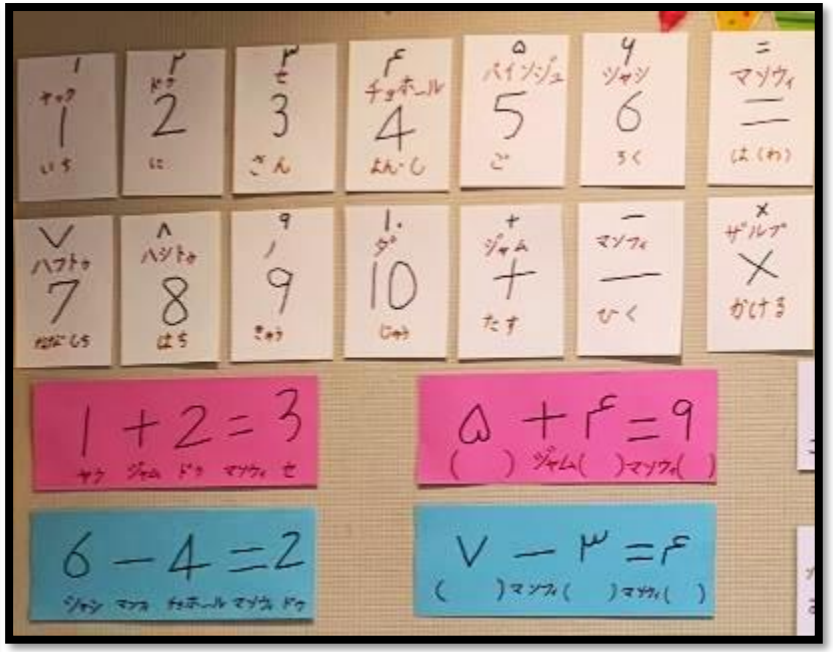
「今なにするの？」

「この漢字は何と読むの？」

「忘れてしまから、見せて。」

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

その他の活動　さくらの掲示板



1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

その他の活動

グアナコ

（想像してねんどで作ってみよう！）

・目

・足

・しっぽ

自分の作成した動物を説明する。

「目は丸いです。きょうりゅうみたいな動物です。」など。

1. 実践の場　日本語適応教室「さくら」

さくらでは、様々な活動を通して、

日本語を覚えられるように心がけている。

２．実践の目的と目標

個別指導の後、一斉指導の学習に移行

↓

初期日本語指導を教科の理解につなげることが困難

・前学年の既習事項を理解している必要がある

・日本語指導教材だけでは学習できない語彙・表現がある

「並べる・積む」　図形の学習で使われる（新しい算数４下）

2．実践の目的と目標

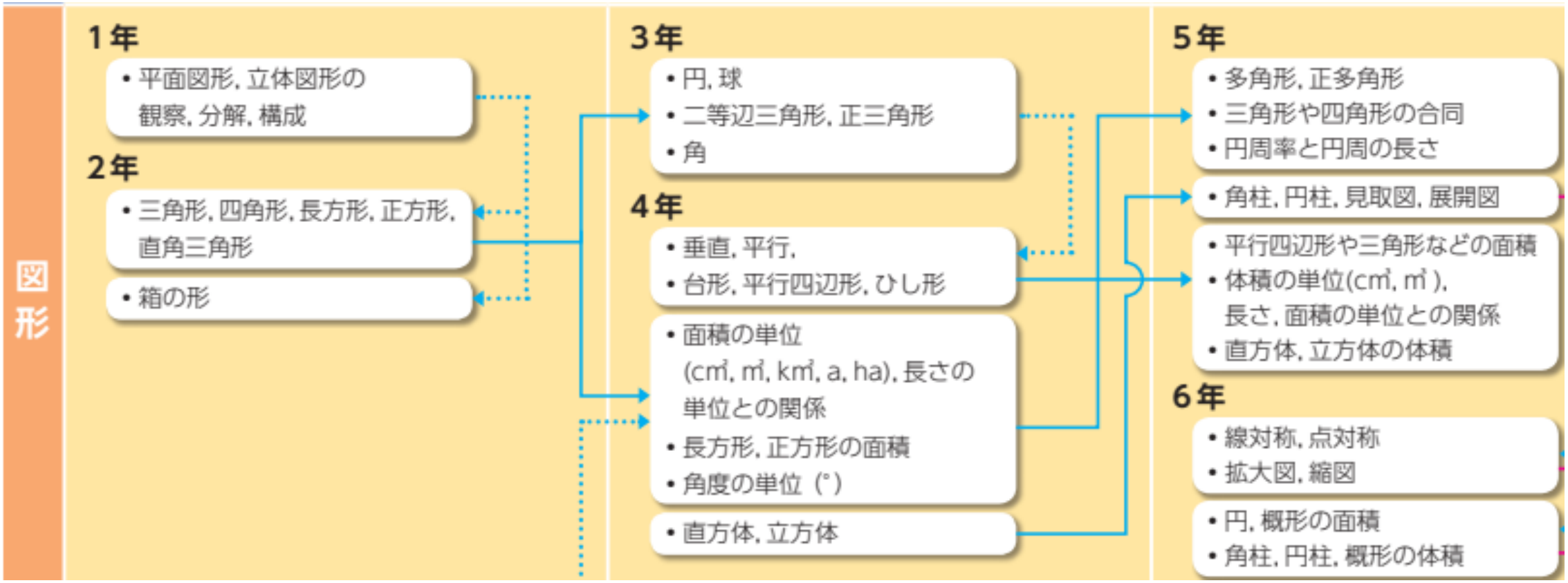


図１　小学校算数　系統表　　東京書籍　東書Eネット　「よくわかる！　小・中・高　算数・数学のつながり」p.34より

２．実践の目的と目標

図画工作科の指導を起点とし、

注１）図画工作科　以下、図工

教科の語彙・表現との関連を意識的にもたせ、

さらに教科の理解そのものを促進させる教材の開発を行う。

２．実践の目的と目標

図画工作科

体を動かし、活動しながら学習する。

↓

五感（見る・触る等）と、言葉の意味が一致しやすい。

2．実践の目的と目標

きる

チョキチョキ

はさみ

紙

技能・行動が言葉と一致する
オノマトペを学ぶことができる

３．実践の内容　－実践の背景－

<u>児童の背景</u>

Aくん　4年生

・母語　　ペルシア語

・来日時期　2021年秋

　　2022年4月　本校入学

・日本語　　（入学時）　ゼロ初級

<u>実践時の様子</u>

日常会話・よく使われる指示の言葉は理解できる。

学習での日本語…支援なしで理解するのは難しい。

<u>課題</u>

・算数に苦手意識

・一時的な暗記は得意だが、記憶が定着しない。

↓

体育や図工等、動作とともに新しい語彙を覚えた場合は、その語彙が定着しやすいようだった。

３．実践の内容　－実践の背景－

図工と算数の授業を横断する内容の教材開発を計画。

作成した指導案で2022年11月から2023年1月に授業を実施した。

「ギコギコトントンクリエイター」
「ほってすって見つけて」

日本文教出版　『図画工作3・４下』

「垂直、平行と四角形」

東京書籍　『新しい算数４下』

3．実践の内容　－実践の背景－

2022年　　2023年

9月　10月　11月　12月　1月

算数（さくら）

3年生の図形復習

なかなか定着せず…

垂直、平行と四角形

図工（4年生）

ギコギコトントン　ほって、すって、

クリエイター　みつけて

３．実践の内容　－実践の背景－

ギコギコトントンクリエイター

ほって、すって、みつけて

3．実践の内容

「ギコギコトントンクリエイター」
「ほってすって見つけて」

「垂直、平行と四角形」

のこぎり、彫刻刀

・楽しんで活動
・切る・彫る活動では
直線が中心

△三角形
□四角形
→直　線
∟直　角

算数用語

・用語の定着が難しい
・作図につまずき

３．実践の内容

学習活動	教師の働きかけ（発問○）、児童の発話（C）	日本語表現の支援、ワークシート等
１． 図工の学習をふり返る。	○　図工ではどうやって模様をかいたかな。 C：ものさしで線を引いたよ。 ○　図工で彫った版画の模様は、どれかな。 C：（指をさし）これとこれです。	・図工で耳にした言葉を算数で復習する。（直線、曲線等） ・実際の児童の版画の作品（図2）と、図形のプリント（図3）を提示する。

図2　児童の版画の作品

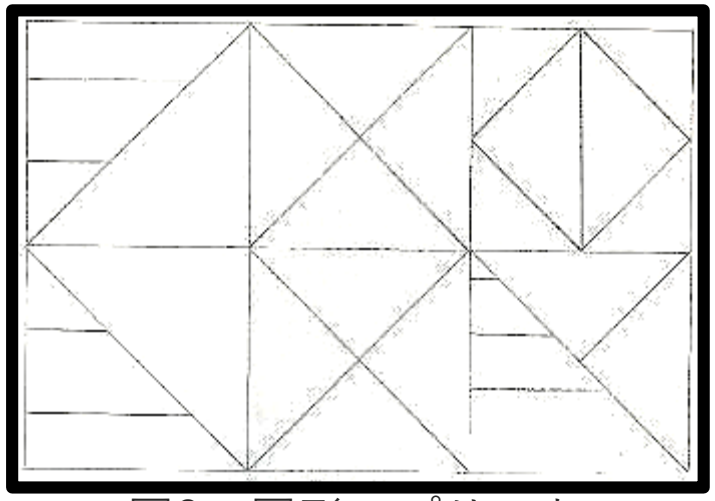


図3　図形のプリント

3．実践の内容

学習活動	教師の働きかけ（発問○）、児童の発話（C）	日本語表現の支援、ワークシート等
1． 図工の学習をふり返る。	○　図工ではどうやって模様をかいたかな。 C：ものさしで線を引いたよ。 ○　図工で彫った版画の模様は、どれかな。 C：（指をさし）これとこれです。	・図工で耳にした言葉を算数で復習する。（直線、曲線等） ・実際の児童の版画の作品（図2）と、図形のプリント（図3）を提示する。

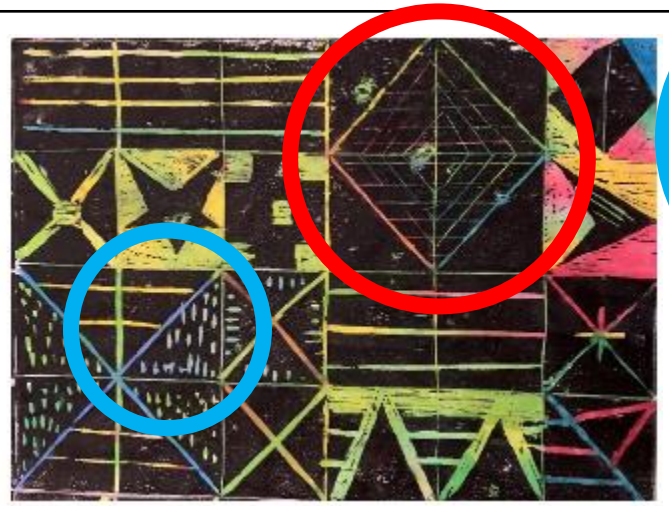


図2　児童の版画の作品

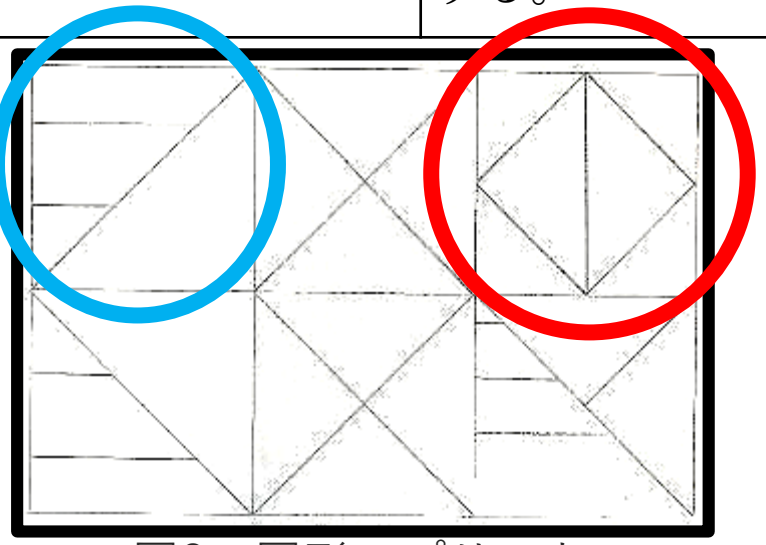


図3　図形のプリント

３．実践の内容

学習活動	教師の働きかけ（発問○）、児童の発話（C）	日本語表現の支援、ワークシート等
２． 「三角形」「四角形」の定義を確認する。	○　どんな形があるかな。 C：三角形です。四角形です。 ○　何という三角形や四角形かな。 ・見つけた形に色をぬる。 C：二等辺三角形です。正三角形です。 正方形です。長方形です。	・見つけた形に色を塗ることで、視覚的に形をとらえやすくする。 （図４）

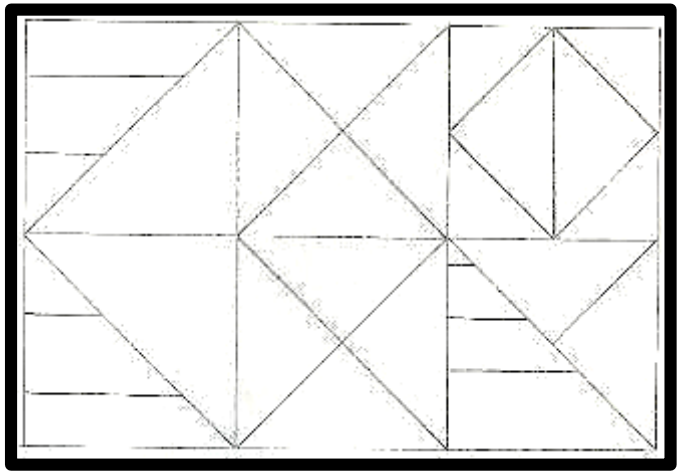


図3　図形のプリント

３．実践の内容

学習活動	教師の働きかけ（発問○）、児童の発話（C）	日本語表現の支援、ワークシート等
２． 「三角形」「四角形」の定義を確認する。	○　どんな形があるかな。 C：三角形です。四角形です。 ○　何という三角形や四角形かな。 ・見つけた形に色をぬる。 C：二等辺三角形です。正三角形です。 正方形です。長方形です。	・見つけた形に色を塗ることで、視覚的に形をとらえやすくする。 （図４）

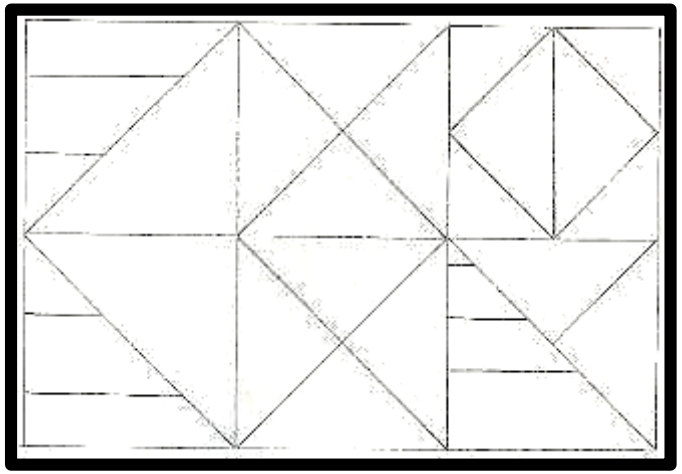


図3　図形のプリント

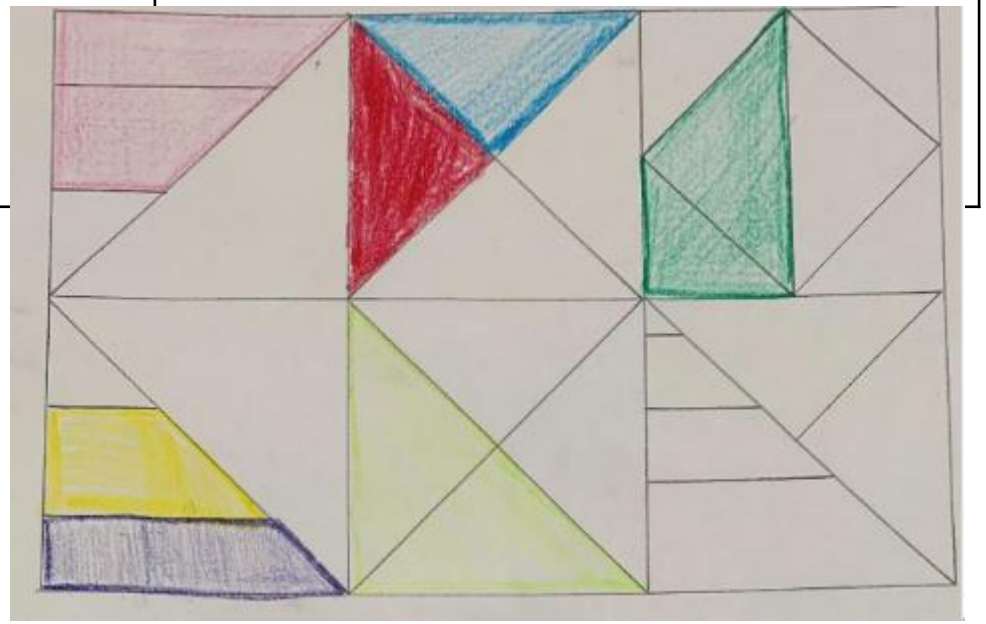
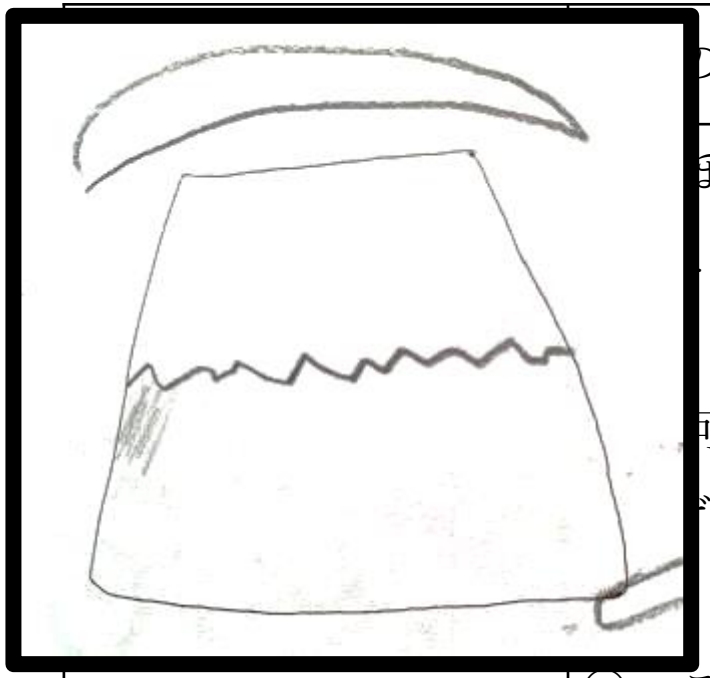


図4　図３に着色

３．実践の内容

学習活動	教師の働きかけ（発問○）、児童の発話（C）	日本語表現の支援、ワークシート等
３． 本時の課題を知る。 平行四辺形と台形を見つける。 	○　ほかにもあるかな。 C：ここに、四角形があります。 ○　何みたいな形かな。 C：ゲームみたい。プリンみたいだよ。 ○　この２つの形の違いはどこかな。 C：ゲームみたいな形は、平行がこことここ。 ２こあるよ。 プリンは、ここ。１こだよ。	・見つけた形を身の回りの形に例えることで、イメージをもちやすくする。 ・図工での活動で、他の児童が多用していた「○○みたい」という表現を使う。

３．実践の内容

	の働きかけ（発問○）、児童の発話（C）	日本語表現の支援、ワークシート等
 図５　山のイラスト	ほかにもあるかな。 こに、四角形があります。 河みたいな形かな。 ゲームみたい。プリンみたいだよ。 ○　この２つの形の違いはどこかな。 C：ゲームみたいな形は、平行がここととここ。 ２こあるよ。 プリンは、ここ。１こだよ。	・見つけた形を身の回りの形に例えることで、イメージをもちやすくする。 ・図工での活動で、他の児童が多用していた「○○みたい」という表現を使う。

３．実践の内容

学習活動	教師の働きかけ（発問○）、児童の発話（C）	日本語表現の支援、ワークシート等
４． 本時のまとめ 平行四辺形と台形の特徴	○　模様の中に、二つの形はあるかな。 C：平行が１こあるから、ゲームだよ。 　　これは２こだから、プリンだ。 ・向かい合った二組の辺が平行な四角形は、「平行四辺形」といいます。 ・向かい合った一組の辺が平行な四角形は、「台形」といいます。 ○　平行四辺形（台形）はどっちかな。 C：こっちだよ。だって、平行が二組（一組）あるからわかったよ。	・「向かい合った」という言葉を学習する際に、一つの机を四人で囲み、動作化しながら声に出す。 ・いろいろな平行四辺形や台形の形を示しながら、形の概念について説明する。 ・「～組ある」という言葉の意味を確認する。

３．実践の内容

〈定義〉　新しい算数４下

向かい合った１組の辺が平行な四角形を、台形といいます。

また、向かい合った２組の辺が平行な四角形を、平行四辺形といいます。

「１組、２組（ひとくみ、ふたくみ）」

クラスの名前のイメージがあった。

靴下や箸など、２つで１つになるものを紹介し、理解のサポートをした。

「向かい合った」

重要な言葉。４人で机を囲み、向かい合う人がだれか動作で確認した。

４．結　果

- 活動を行いながら、教師が意識的に語彙・表現を使うことで、「四角形」等の算数の用語や「彫る」等の語彙を、自然に覚えて使えるようになった。

- 「〇〇みたい」という表現を取り入れたことで、図形の特徴を意識して発話する様子が見られた。

- 家庭学習でも「平行四辺形」「台形」が含まれる問いを解くことができており、語彙や算数の知識が定着したことが分かった。

5．考察　―教材開発の意義―

- 児童は初期指導を受けている間でも、教科の学習を進める必要がある。

  →一斉授業での学習に少しずつでもついていけるようにするため。

- しかし学ぶべき教科は多く、用語だけを暗記させようとしても効果はない。
- 教科を横断して学べる項目や語彙・表現の連関を検討し、児童に負担が少なく自然に習得できるような指導案が有効。

５．考察　―教材の有効性―

- 今回開発した図画工作科と算数科の横断型教材
  - ✓ 図形の名前など、算数でも使われる語彙が多く、児童は自分で図形を描きながら言葉を覚えた。
  - ✓ その活動を想起させながら、算数の学習を導入し、図工で学んだ知識を算数でも活用できた。
- 教科間で連関のある学習項目や語彙表現などを意識的に抽出し、指導に用いたことで実現した。

5．考察　―教材の有効性―

- 算数は小学校低学年で学ぶ項目が、その後の基礎項目となることが多い。
  - ✓そのため、図形の名称や特徴などがきちんと日本語で習得できていれば、その後の学習がうまく進むことにつながる。
- さらに、学年ごとの教科横断型の指導案を作成することで、指導方法をある程度、標準化することができる。
  - ✓日本語教室などでは、必ずしも日本語指導が専門ではない教員が担当したり、担任になったりすることが多く、そのような場合にも引き継ぎがしやすかったり、教授法の蓄積も可能になったりする利点がある。

5．考察　―教材の課題―

- 図工の授業は、使用する題材は毎年共通だが、実際の授業での使用法は、担当教諭に委ねられている。
  - ✓そのため、汎用性のある教材作成をするためには、担当教員同士の協働が重要になる。

5．考察　―教材の課題―

- すべての算数の語彙や表現を、図工から取り入れられるわけではないことに注意が必要となる。
  - ✓今回紹介した例では、図形の定義の中の「向かい合った」という表現は、図工の学習項目から取り入れることができなかったため、別の方法で導入を行う必要があった。

６．まとめ

図工では、

- 児童が楽しんで学習している。
- 五感（見る・触る等）と、言葉の意味が一致しやすい。

算数でも、

- 図工の学びを活用することで、日本語で学習することや、算数の心理的な負担や難しさも軽減できたと言える。

６．まとめ

- 毎日の学級通信「mi-chi」や日記「あゆみ」

- 特定の教科でなくても、他の教科や日常の活動や行事などで使う語彙や表現を連動させて、児童が日々の生活から教科の学びにつなげることも可能になるのではないか。

- 現在、それについても、試行中。

引用文献

東京書籍（2019）『新しい算数４下　考えると見方が広がる！』

日本文教出版（2019）『図画工作3・４下』

ご清聴
ありがとう
ございました

阿部　朱理
shi.akari4@gmail.com

中川　佑紀
yuki@staff.kanazawa-u.ac.jp

深澤　のぞみ
nozomifukasa@gmail.com
https://kanazawa-kodomo.jimdosite.com/